

# 平成20年度福岡県公共図書館等協議会「資料収集・保存委員会」調査 「地域(郷土)資料について アンケート調査」結果の概要(案)

## 「地域(郷土)資料について アンケート調査」の実施について

### 1. 調査目的

地域(郷土)資料とは、その地域で過去に作られ現在まで保管されてきている資料と現在地域で作られている資料の両方を含むものであり、その範囲は、図書、雑誌、新聞、地図、パンフレットなどの印刷資料(行政刊行物を含む)と写真、フィルム、マイクロ資料、磁気あるいは光媒体に記録された資料、さらに、文書・記録、美術品、博物資料などの現物資料と多種・多様なものを含んでいる。

平成12年度に地域(郷土)資料に関する実態調査を実施したが、その後、指定管理者制度の導入や市町村合併等、図書館の状況が大きく変化してきているため、「福岡県内の公共図書館・公民館図書室等において、地域(郷土)資料がどのように取り扱われているのか」について、収集・整理・提供・保存・連携等の各側面から実態を調査し、福岡県における現状を把握し、地域(郷土)資料の分担収集・分担保存の可能性及びその推進に資することを目的として調査を行ったものである。

### 2. 調査方法

この「地域(郷土)資料について アンケート調査」は、国立国会図書館が平成18年度に行った「地域資料に関する調査研究」をモデルに、福岡県における地域(郷土)資料の実態を把握しようとしたもので、質問紙法によって、福岡県内公共図書館・公民館図書室(分館等を含む)等について、調査した。

### 3. 調査結果の概要

この調査から、福岡県内各公共図書館、図書室等では地域(郷土)資料の収集について意識的に取り組んでいるが、整理・保存・提供・連携等については、設備面、技術面、運営面からそれぞれに不十分な点があることがわかった。以下に、概要を述べる。

- ① 各自治体の刊行物や自治体内の刊行物の収集については、全国に比べて、積極的に取り組んでいる状況が見られた。例えば、広報誌は福岡県内公共図書館・図書室等の94%、全国では80%、郷土人の自費出版物は福岡県内の71%、全国では24%の図書館で収集されている。しかし、利用サービスやPR、資料保存対策、他機関との連携においては取り組みが不十分な状況が見られた。
- ② 職員に関しては、地域(郷土)資料担当者の不足が課題となっている。福岡県内公共図書館・図書室等では専任または兼任が約42%で、半数以上の館が明確な担当者がいない状況だが、全国で見ると90%の図書館が専任または兼任の担当者を配置している。
- ③ 各館の重要課題としては、「書庫スペースの不足」(設備面)、「資料保存・資料整理のノウハウの不足」(技術面)、「基準・方針の不備」(運営面)などが上がっている。

この調査を通じ、福岡県内の各公共図書館が自館の地域(郷土)資料の大切さを再認識し、今後各館が地域(郷土)資料サービスを展開していくための参考となる収書方針や選書基準が多数収集されたことも成果の一つである。

なお、調査結果の詳細については、福岡県立図書館HP上で公開している。

### 4. まとめ

地域(郷土)資料は、その地域での収集・保存が重要で必要な資料群であるため、分担収集・分担保存の対象として取り組みやすい資料群である。

県内の各図書館・室等がそれぞれの地域の資料の収集・保存に責任を持つことで、福岡県全体としての地域(郷土)資料の網羅的な収集と保存が可能となる。

今後は、今回の調査で明らかになった各図書館・室等からの課題(「地域(郷土)資料の基準・方針」、「保存や整理のノウハウ」、「行政機関との連携」等)をテーマとする研修会等を実施し、地域(郷土)資料の理解を深め、福岡県全体としての地域(郷土)資料の充実を図るとともに、地域(郷土)資料の分担収集・分担保存のあり方についてもさらなる研究をすすめることが必要である。

## 「地域(郷土)資料について アンケート調査」の結果について

このアンケート調査は、平成20年7月に福岡県内すべての公共図書館、公民館図書室等(分館等を含む)131館へ実施し、123館からの回答を得た。

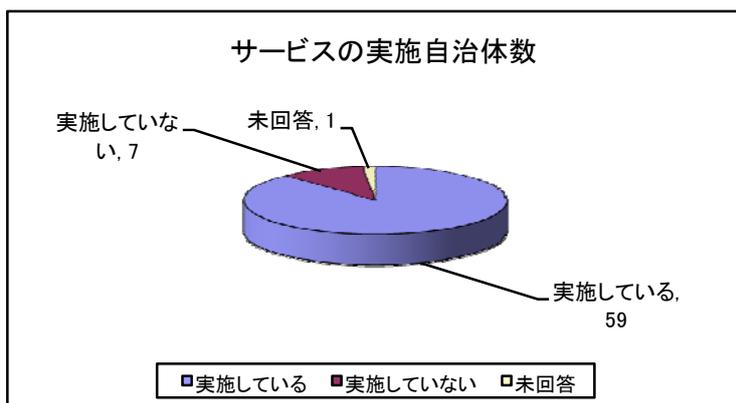
以下に、調査の中のいくつかの設問について解説し、概要とする。

### (0) 図書館・室等について

回答館の創立年等と地域(郷土)資料に関するサービスの実施の有無について調査した。

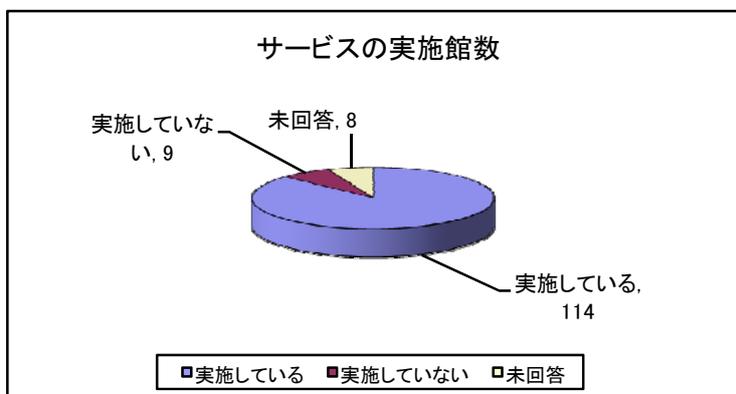
アンケート回答館の実施館率は92.7%、自治体数では88.1%と、「地域(郷土)資料に関するサービス」の実施率は高い。

#### 0.2 地域(郷土)資料に関するサービスの実施



自治体数

サービスの実施	自治体数
実施している	59
実施していない	7
未回答	1
全自治体数	67



全館数

サービスの実施	全館数
実施している	114
実施していない	9
未回答	8
全館数	131

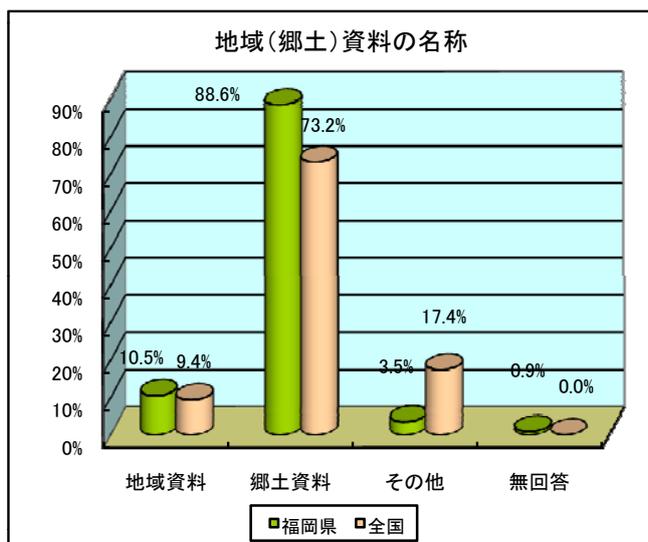
### (1) 概要

ここでは、地域(郷土)資料に関するコレクション全体について、その名称、配架場所、予算等について調査した。

コレクションの名称については、全国に比べ「郷土資料」の割合が大きい一方、「地域資料」の浸透率もやや高くなっている。

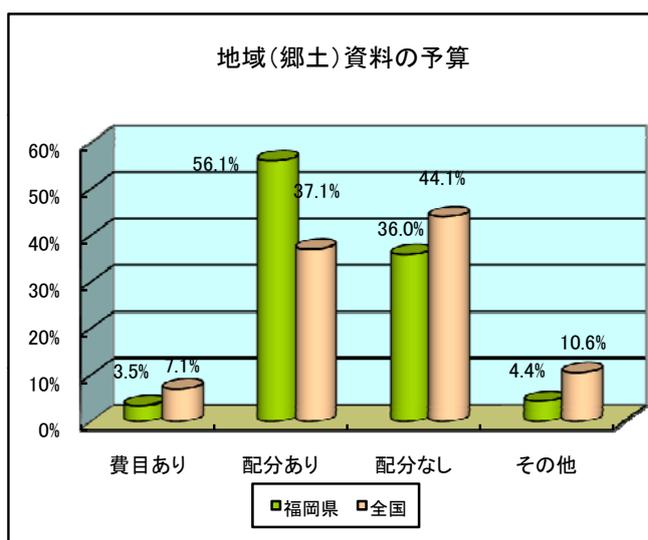
また、予算については、独自配分の館は少ないが、資料費全体の中から配分を受けている館が半数以上あり、収集意識の高さがあらわれている。しかし、40%の館では予算配分がなされず、寄贈資料のみの収集に終わっている。積極的な収集を可能にする予算確保が課題となっている。

## 1.1 地域や郷土に関する資料コレクションの名称



名称	福岡県	全国
地域資料	10.5%	9.4%
郷土資料	88.6%	73.2%
その他	3.5%	17.4%
無回答	0.9%	0.0%
回答計	103.5%	100.0%

## 1.4 地域(郷土)資料の予算



予算	福岡県	全国
費目あり	3.5%	7.1%
配分あり	56.1%	37.1%
配分なし	36.0%	44.1%
その他	4.4%	10.6%
回答計	100.0%	98.9%

## (2) 地域(郷土)資料のコレクション

ここでは、収集の側面から、地域(郷土)資料の種類、収集方法、収集(選書)方針、収集対象地域について調査した。特に、自治体刊行物、自治体内刊行物の収集については詳細に調査した。

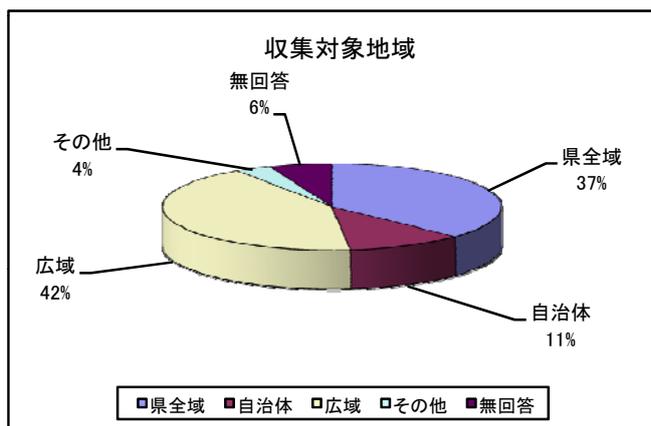
収集方針や選書基準については、明文化された資料の提出館が17館、明文化されていないが具体的な基準を記載した館が16館ある。ただし、収集方針等の明文化率は低く、「定めていない」、あるいは無回答の比率が高い。なお、提出資料の一覧及び記載内容の詳細は別紙資料にある。

(参照：別紙「2.2 地域(郷土)資料の収集方針・選書基準の有無」)

収集対象地域については、それぞれの地域の歴史的な経緯を踏まえて隣接市町村や関連地域を含む広域を指定している館が多い一方、県域全体を対象とする館もみられる。対象地域は各館の収集方針等に基づくものではあるが、少なくとも現在の自治体の範囲内の資料に関して分担収集・分担保存の考え方が採用できると考えられるため、県内での共通認識や体制づくり等、今後の研究が必要と考える。

また、自治体刊行物の収集のシステム化の取組率は全国に比べかなり高く、地域行政資料への意識の高さがうかがわれる。

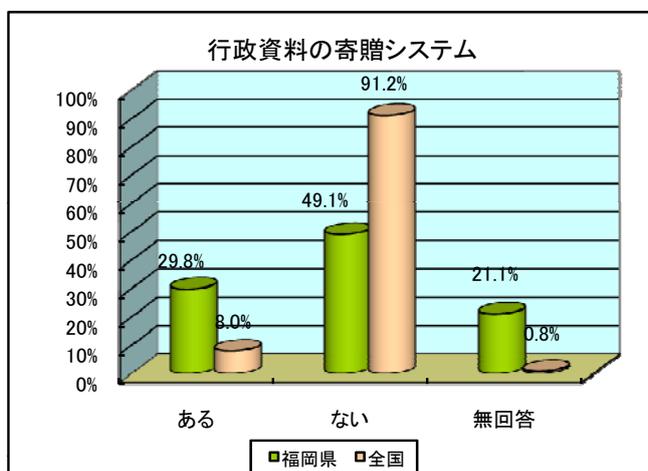
## 2.3 地域(郷土)資料の収集対象地域



収集対象地域	福岡県	
県全域	43	37.7%
自治体	13	11.4%
広域	49	43.0%
その他	4	3.5%
無回答	7	6.1%
回答計	116	101.8%

※重複回答あり

## 2.5 自治体発行物の寄贈システム



寄贈システム	福岡県	全国
ある	29.8%	8.0%
ない	49.1%	91.2%
無回答	21.1%	0.8%
回答計	100.0%	100.0%

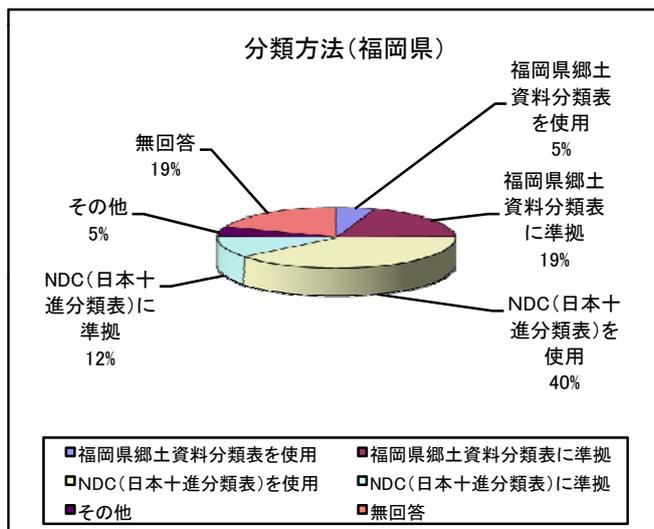
## (3) 資料整理

ここでは、資料整理の側面から調査した。資料別作成データの検索方法等についても調べている。

福岡県では、書誌データ作成者は全国に比べて、正職員の比率が約3分の1、嘱託・臨時職員の比率が2.5倍となっている。また、派遣職員の比率も高い。

図書資料の分類について、所管地域の範囲や蔵書量の多い館ほど、「主題区分後地理区分」を採用＝「福岡県郷土資料分類表」を使用あるいは準拠している傾向がある。町村図書館ではNDC採用率が高くなっている。

### 3.2 地域(郷土)資料の図書の分類法



分類方法	福岡県
福岡県郷土資料分類表を使用	5.3%
福岡県郷土資料分類表に準拠	19.3%
NDC(日本十進分類表)を使用	39.5%
NDC(日本十進分類表)に準拠	11.4%
その他	5.3%
無回答	19.3%
回答計	100.0%

#### (4) 利用

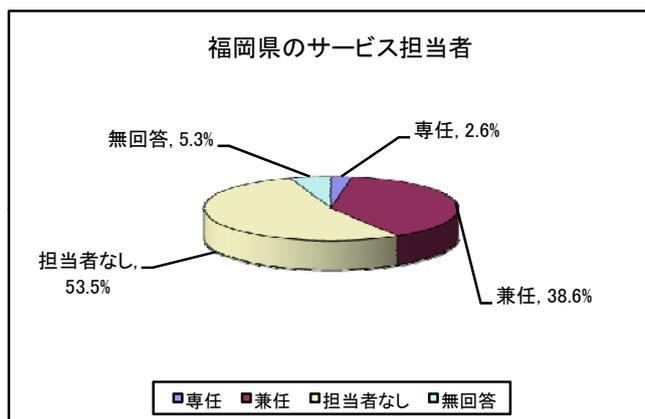
地域(郷土)資料の利用について調査した。内容は、サービスの重点や担当者の有無、貸出やレファレンスの件数、また、PRの方法や市民向けの事業、外部機関への資料協力の有無などである。

まず、サービス担当者が専任の館は3館のみで、明確な担当者がいない館が半数を占めている。

また、郷土資料室等に配架している地域(郷土)資料の貸出については、半数以上の館が全てあるいは禁帯出分以外や複本を貸出OKである。一方、全面禁止の館は1割ほどであり、全国の比率に比べて、約2倍という結果であった。

地域(郷土)資料のPRについては、全国に比べ、かなり不足している。4分3以上の館で、特にPRしていないという回答であった。独自のものは難しくとも、既存の広報手段をもっと活用する必要がある。

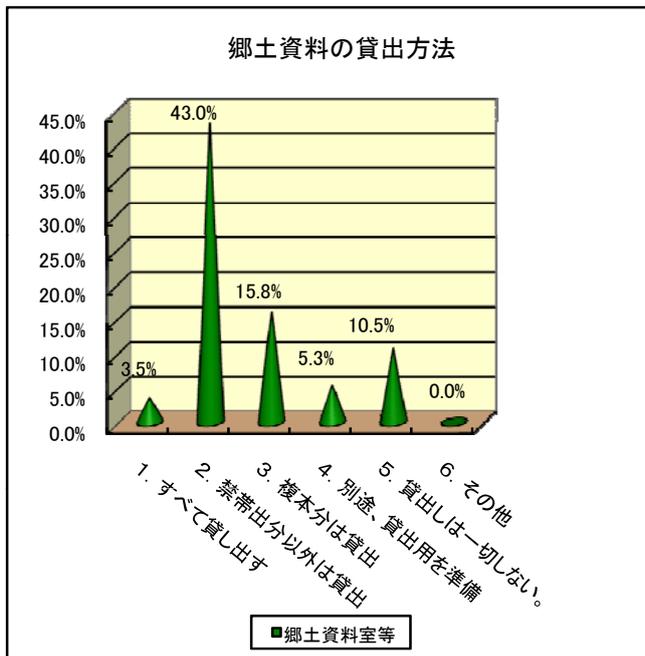
### 4.2 地域(郷土)資料のサービス担当者



#### ・配置率

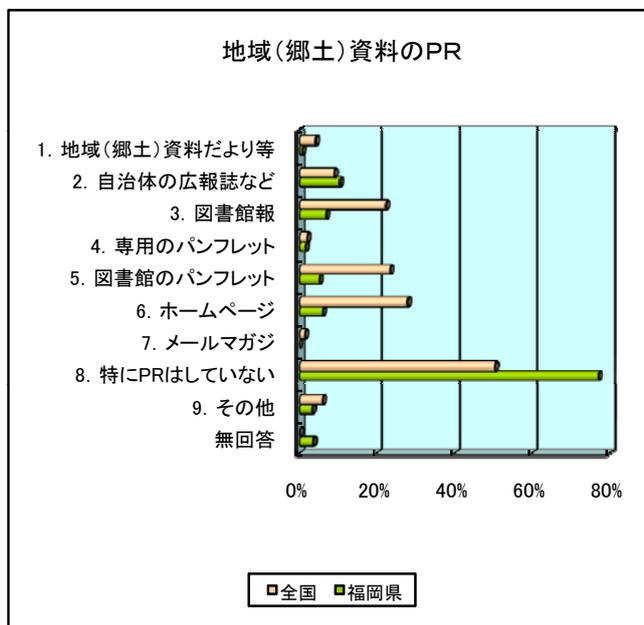
担当者	福岡県
専任	2.6%
兼任	38.6%
担当者なし	53.5%
無回答	5.3%
回答計	100.0%

#### 4.4 地域(郷土)資料の貸出方針



貸出方針	郷土資料室等
1. すべて貸し出す	3.5%
2. 禁帯出分以外は貸出	43.0%
3. 複本分は貸出	15.8%
4. 別途、貸出用を準備	5.3%
5. 貸出しは一切しない	10.5%
6. その他	0.0%
回答計	78.1%

#### 4.5 地域(郷土)資料のPR



PRの方法	福岡県	全国
1. 地域(郷土)資料だより等	0.9%	4.3%
2. 自治体の広報誌など	10.5%	9.2%
3. 図書館報	7.0%	22.4%
4. 専用のパンフレット	1.8%	2.2%
5. 図書館のパンフレット	5.3%	23.5%
6. ホームページ	6.1%	28.0%
7. メールマガジン	0.0%	1.6%
8. 特にPRはしていない	77.2%	50.6%
9. その他	3.5%	6.1%
無回答	3.7%	0.2%

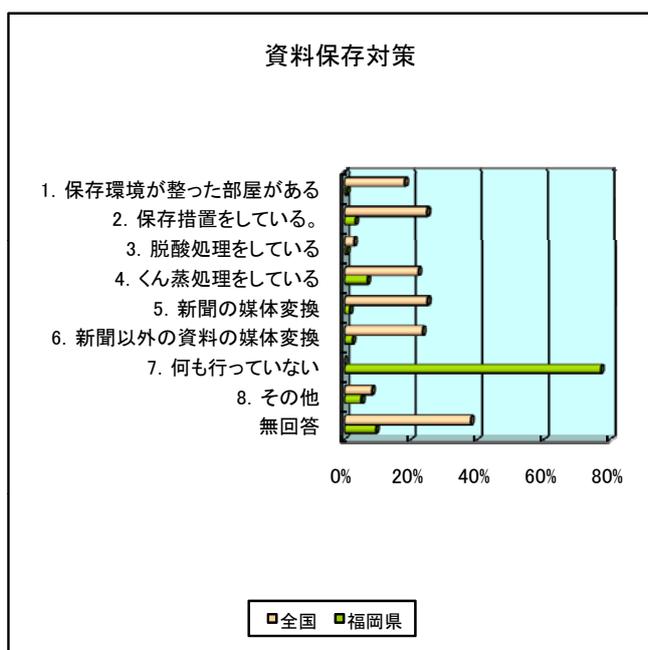
※重複回答あり

## (5) 資料保存対策

各館の資料保存対策について、その方針・基準の有無、具体的な対策事例等について調査した。地域（郷土）資料についての保存方針・基準、または、除籍・廃棄の方針・基準の作成率は、全国に比べて低い。なお、作成館の提出資料は別添資料にある。

資料保存対策は全く実施していない館が4分の3あり、非常に遅れている。「燻蒸処理」はやや浸透しているが、それでも、実施館は7%に過ぎない。保存対策については早急な改善が必要である。

### 5.2 資料保存対策



資料保存対策	福岡県	全国
1. 保存環境が整った部屋がある	0.9%	18.4%
2. 保存措置をしている。	3.5%	25.1%
3. 脱酸処理をしている	0.9%	3.1%
4. くん蒸処理をしている	7.0%	22.4%
5. 新聞の媒体変換	1.8%	25.1%
6. 新聞以外の資料の媒体変換	2.6%	23.7%
7. 何も行っていない	77.2%	0.0%
8. その他	5.3%	8.4%
無回答	9.6%	38.2%

※重複回答あり

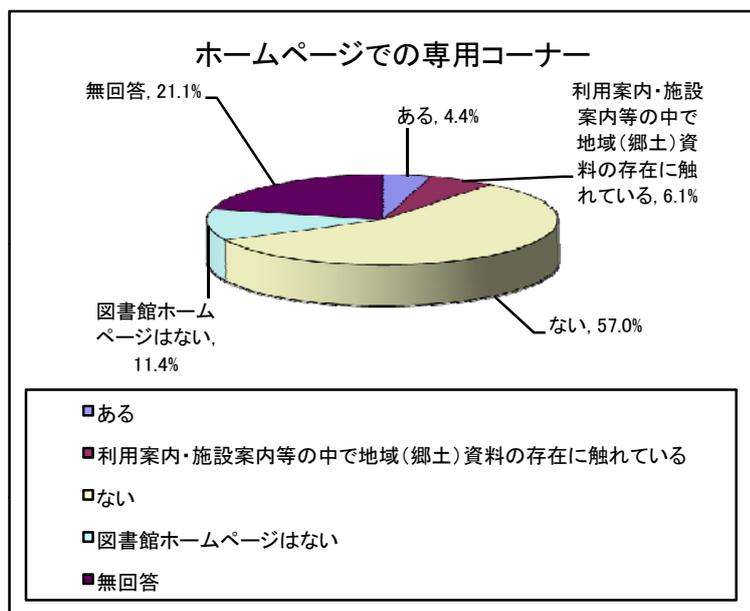
## (6) 出版・コンテンツ電子化

地域（郷土）資料についての情報発信について、調査した。

図書館のHP開設率は全国と変わらないが、地域（郷土）資料に関する情報発信率は全国の約4分の1と大変低くなっている。

また、地域（郷土）資料に関する事業（ツール類の作成、出版、デジタルコンテンツの作成等）についても、取り組みは全体的に低調であり、今後の課題である。

## 6.1 ホームページ中の地域(郷土)資料コーナー



ホームページ中の地域(郷土)資料コーナー	福岡県	全国
ある	4.4%	15.1%
利用案内・施設案内等の中で地域(郷土)資料の存在に触れている	6.1%	28.4%
ない	57.0%	41.6%
図書館ホームページはない	11.4%	9.6%
無回答	21.1%	1.4%
回答計	100.0%	96.1%

## (7) 課題・ボランティア

ここでは、各館の重要度の高い課題、緊急度の高い課題をそれぞれ調査した。また、ボランティアとの協働の実施(具体例)について調査している。それぞれの課題について、重要度、緊急度の高い順にそれぞれ上位5位までを下の表に示した。

福岡県で共通した項目は、「1. 書庫スペースの不足」、「7. 資料整理のノウハウの不足」、「11. 地域(郷土)資料の基準・方針が不十分」、「14. 行政機関との連携の不十分」である。その他の重要課題には「4. 資料保存のノウハウの不足」が、緊急課題には「9. 担当専任職員の不足」があがっている。

全国の調査は重要度のみである。福岡県と全国との共通の重要度の高い課題は、「1」、「4」、「14」で、特に、「1」は福岡県でも全国でも共通して重要度1位の課題となっている。

そのほかに、全国では「9」、「2. 閲覧スペースの不足」が上位に上がっているが、福岡県の特徴としては「7」、「11」があがっている。

ボランティアとの協働については、実施館は7%と少ない。下に、具体事例を列挙した。

### 7.1 地域(郷土)資料に関する課題

#### 重要課題ベスト5

福岡県の重要課題	福岡県		全国
	順位	回答率	順位
1. 地域(郷土)資料に関する書庫スペースが不足	1	25.4%	1
11. 地域(郷土)資料の基準、方針が不十分	2	24.6%	13
4. 資料保存のノウハウが不足	3	21.1%	3
7. 地域(郷土)資料の整理のノウハウが不足	3	21.1%	9
14. 行政機関との連携が不十分	5	18.4%	5

#### 緊急課題ベスト5

福岡県の緊急課題	福岡県		全国
	順位	回答率	順位
1. 地域(郷土)資料に関する書庫スペースが不足	1	17.5%	1
11. 地域(郷土)資料の基準、方針が不十分	2	14.9%	13
14. 行政機関との連携が不十分	3	13.2%	5
9. 地域(郷土)資料の担当専任職員が不足	4	12.3%	2
7. 地域(郷土)資料の整理のノウハウが不足	5	11.4%	9

### 7.2 ボランティアとの協働

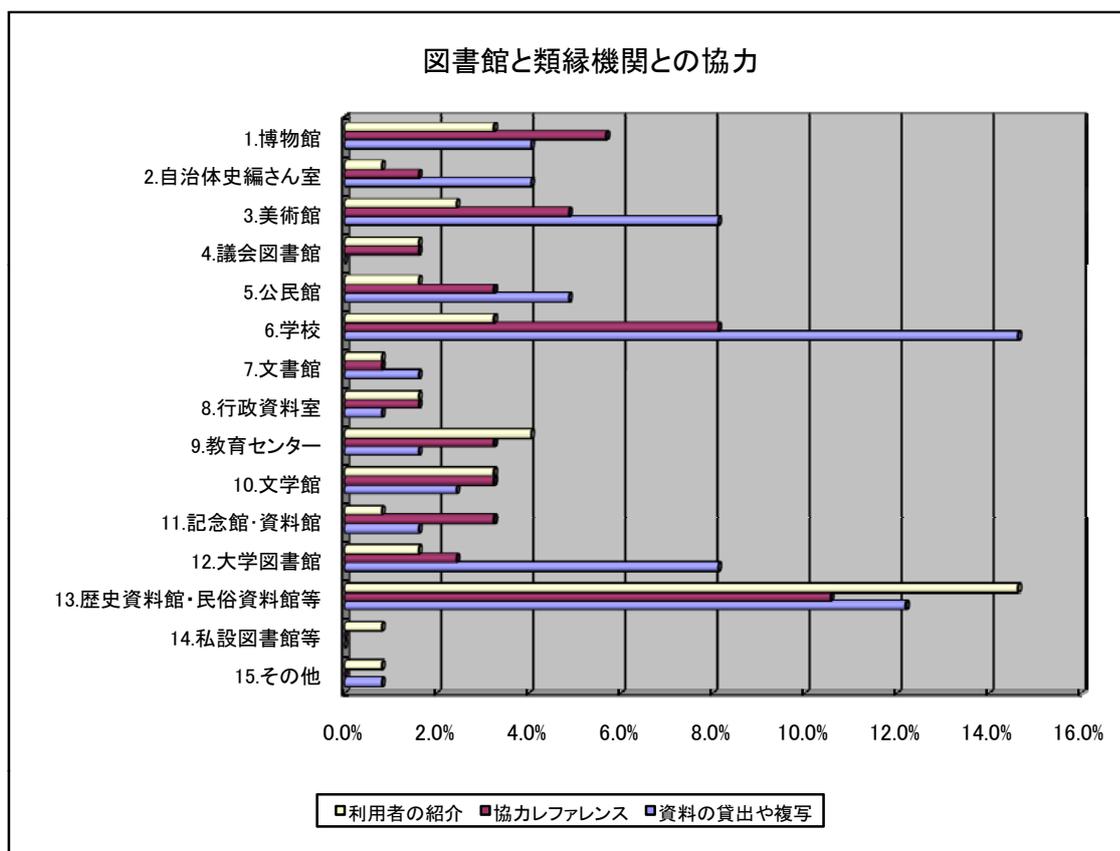
【 協働の具体例 】

1	新聞切抜きの補修、破損図書の修理、書架整理
2	製本補助
3	書架整理
4	館報「そねっと」に曾根干潟の記事を寄稿
5	戸畑郷土史会の月例会議等へ参加
6	市史作成時に使用した資料の整理・目録作成作業 古文書資料の目録作成作業 それぞれ2団体のボランティアグループと協働 ※2団体のボランティアグループと協働
7	広報・議会だよりの点字資料の作成、広報の朗読テープ作成
8	郷土資料の目録作成を協力していただいているボランティア団体と協働

(8)その他

ここでは、市町村合併の有無と合併後の変化、類縁機関との協力関係等について調査した。  
 市町村合併後の図書館における地域(郷土)資料の取り扱いについては、約2割の自治体で旧来の方法と調整を行う動きがあったが、資料の集中化などの再編はまだ行われていない。  
 類縁機関との協力関係は全国と比べ、全般において低調である。それでも、歴史資料館・民俗資料館等、学校、博物館、美術館との協力関係があり、その形態は、資料の貸出や複写、レファレンス、利用者の紹介と続く。歴史資料館・民俗資料館とは全ての項目で協力関係が見られる。  
 なお、地域(郷土)資料に関しての意見等の自由記述は別紙資料にある。(参照:別紙「8. 6御意見等」)

8. 5 図書館・室等と各種類縁機関との協力関係



福岡県	資料の貸出や 複写	協力レファ レンス	利用者の 紹介
1.博物館	4.1%	5.7%	3.3%
2.自治体 史編さん 室	4.1%	1.6%	0.8%
3.美術館	8.1%	4.9%	2.4%
4.議会 図書館	0.0%	1.6%	1.6%
5.公民 館	4.9%	3.3%	1.6%
6.学校	14.6%	8.1%	3.3%
7.文書 館	1.6%	0.8%	0.8%
8.行政 資料室	0.8%	1.6%	1.6%
9.教育 セン	1.6%	3.3%	4.1%
10.文学 館	2.4%	3.3%	3.3%
11.記念 館・資料館	1.6%	3.3%	0.8%
12.大学 図書館	8.1%	2.4%	1.6%
13.歴史資料 館・民俗資 料館等	12.2%	10.6%	14.6%
14.私設 図書館	0.0%	0.0%	0.8%
15.その 他	0.8%	0.0%	0.8%
無回答	51.2%		

全国	資料の貸 出や複写	協力レファ レンス	利用者の 紹介
1.博物館	37.4%	39.6%	38.5%
2.自治体史 編さん室	26.0%	29.0%	19.6%
3.美術館	14.6%	16.2%	13.1%
4.議会図 書館	12.1%	14.2%	12.3%
5.公民館	30.6%	23.4%	16.5%
6.学校	38.1%	23.4%	5.0%
7.文書館	8.2%	11.2%	13.8%
8.行政資 料室	7.8%	12.9%	20.8%
9.教育セ ンター	10.0%	11.2%	11.5%
10.文学 館	8.5%	8.6%	5.4%
11.記念館・ 資料館	38.1%	39.9%	38.5%
12.大学 図書館	26.7%	19.8%	23.8%
15.その 他	8.2%	9.2%	10.4%
無回答	0.4%	0.3%	0.4%

※13、14の調査項目なし